

桜 竹 梅

平成22年 夏号



発行所 医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285
FAX 088-824-2363
発行者 島津 栄一
ホームページ
<http://www7.ocn.ne.jp/~shimazhp/>



ご 挨拶

院長 三宅 晋



今日は、梅雨まっただなかの6月29日先週の土曜日以来各県で大雨洪水注意報が続いています。テレビ、新聞は、今夜開催される日本・パラグアイ戦のサッカーワールドカップ報道で持ちきりです。院内広報委員会から、原稿依頼されてもう一ヶ月以上が過ぎました。土砂降りの雨と高温多湿でむせ返るような中、参議院選挙を目前に控えた街宣車は、私の鬱な気持ちもおかまいなしに騒音をまきながら、あわただしく走りすぎていきます。

私の庭では、一年中なにかの花々が咲いています。正月頃は、パンジーが、早春には土佐ミズキ、春になれば、すずらん、チューリップ、バラ、芍薬、垣根のモッコウバラ、石楠花、バイカウツギから、夏椿、夏スミレ、梅雨になれば、紫陽花、夏炎天下のアサガオ、秋の初めを感じさせるキンモクセイ、秋の花、菊と四季とりどりの花が咲きます。このように書きますと、広大な庭のように思われるかもしれませんが、ほんの猫の額ほどの小さな庭に、花の鉢を並べて楽しんでいます。それまでは、自分の存在の気配すら感じさせず、ひっそりとしていた花が、それぞれの自分の季節になり、いっせいに咲き誇り、自分の存在を目いっぱい自己主張始めると、その鉢が一番いい目に付く場所へ移動されます。つい先週までは、庭の主演は、色とりどりの紫陽花と、白い大きな花をつける夏椿でした。しかし今は、今まで咲き誇っていたほかの花々たちとともに、後ろの席に戻り、静かに強い雨に打たれています。その中

で、今が盛りと自己主張している花があります。地植えのアガパンサスです。小さな薄青色の花をいっぱいつけて、腕を天に突き出すかのように雨に打たれながらも誇らしく咲いています。狭い庭のかかなりのスペースを占拠し、一年間、葉っぱだけで、増えるごとに葉っぱを刈られ根を抜かれ、邪魔者扱いにされていたアガパンサスは、今は、とても自信に満ち、確信に満ちています。幸いなことに、狭い我が家の庭にも一年中「生」が満ち溢れています。誰もが息を潜めてじっと耐えているかのような今日の世の中であって、以外にも停滞した気持ちを晴れやかにしてくれます。晴れ舞台の花々からは、毎日家を出るとき「しっかりやれよ!」とこぶしで背中を押されるような気がしています。

「生とは?」「生きることの意義とは?」そのような、永遠の命題が、そんなに単純にわかるわけがありません。年々忘れずに自分の「生」を満喫している庭の花々をぼんやりと眺めていると色々な想がめぐってきます。この原稿が、活字になるころには参議院選挙の結果もまた今日のサッカーの結果わかっているでしょう。しかし、結果は生きることにさほど大きな意味はありません。今を生きることの現実こそが「生きる」ことであり、そして庭の草花のように、与えられた期間晴れ舞台で目いっぱい「生」を主張することが「今を生きる」ということではないかとふと考えました。

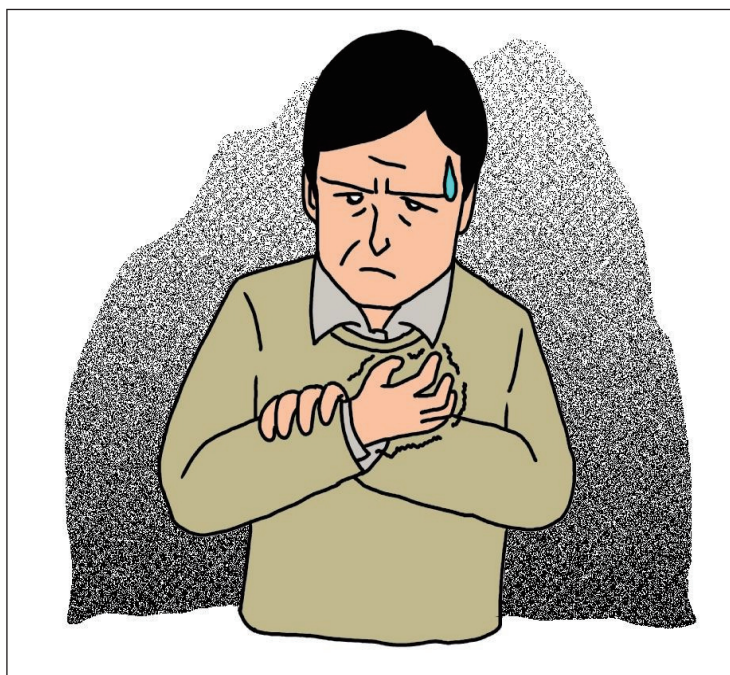
しびれ

－ 感覚障害だけでなく運動麻痺でも －

しびれの原因は多岐にわたりますが、その病変の部位は問診によりある程度、推定することが出来ます。持続性のものでは、感覚神経やその神経路の病変が、間欠性・発作性に出現するものであれば、神経の機械的圧迫や虚血によるものなどが考えられます。さらに、神経学的診察により病変の部位を推定し、MRI、電気生理学的検査などの補助検査をすすめます。

「しびれ」というのは日本語特有の表現で、患者の訴えるしびれが必ずしも感覚障害のみを指しているではありません。

その原因は多岐にわたります。大別すると感覚障害をしびれと訴える場合、運動障害を訴える場合、感覚障害と運動障害の両者が合併した症状として訴える場合の3つがあります。



(by Toru Sugimoto)

●しびれの種類

感覚障害によるものは、一般に急に出現したものほど、しびれと訴えやすいといえます。運動障害によるものは、比較的急に進展する運動麻痺をしびれと訴えることがあり、片麻痺の殆どの原因は、脳血管障害です。

感覚障害と運動障害が合併するものは、末梢神経の圧迫や急性循環障害が原因で、長時間正座した時の足のしびれ、などが典型的なしびれです。

●しびれの診断

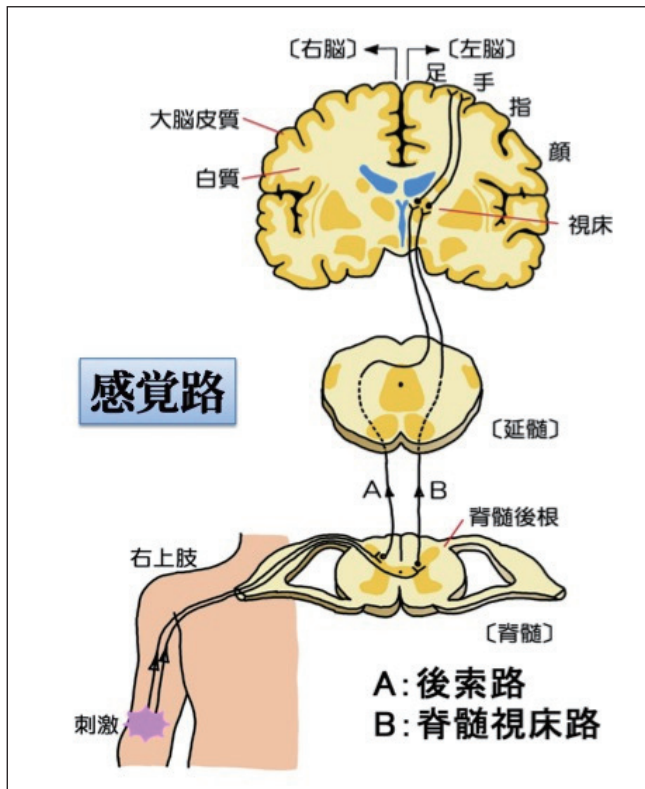
多くの場合、問診と神経学的診察により病変の部位を推定することができます。

感覚障害は、

1. 表在感覚異常（触覚、表在痛覚、温度覚の障害）
2. 深部感覚異常（位置覚、振動覚、深部痛覚）
3. 複合感覚異常（立体覚、2点識別覚、図形識別覚）

の3つに分けられます。

1は主に脊髄視床路、2, 3は脊髄後索の障害によりますが、この2つの神経路は脊髄、脳幹でその経路を異にするため、障害部位で特異的な「解離性感覚障害」を呈し、しびれを訴える疾患の鑑別診断に役立ちます（次ページ図を参照）。



森 惟明

森 惟明先生の「セカンドライフ」はホームページでもご覧になれます
<http://www.i-kochi.or.jp/prv/morik/>

○一側性の場合

多くが大腦と脳幹の障害で起こります。顔面を含めた身体の半側の障害は、橋上部より上の病変で出現します。

○両側性の場合

多くが脊髄障害で起こります。

○上肢・下肢の感覚障害

上肢あるいは下肢に限局した領域の感覚障害は、末梢神経の障害で起こります。

○顔面の感覚障害

顔面のしびれの原因は、三叉神経第1枝領域は眼科疾患、第2枝領域は副鼻腔疾患、第3枝は三叉神経痛と歯科・口腔外科疾患が主要疾患として挙げられます。

●しびれの治療

しびれを来す疾患には様々なものがありますので、それぞれの原因疾患に応じた治療が必要です。

一般的には、しびれのある局所の安静や保温、しびれに随伴する痛み、緊張、不安、不眠などを緩和するための薬物療法を行います。

末梢神経障害では、ビタミン剤の内服を併用します。慢性的なしびれに対しては、精神面での支援が必要となります。原因がつかめないしびれの場合には、神経内科の受診が望ましいと考えられます。

神経内科では改めてしびれの原因となる疾患の鑑別が行われ、必要に応じて脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、口腔外科、精神科、糖尿病外来などの専門の診療科へ紹介されます。

健康だより

慢性腎不全患者様の味覚障害について

島津クリニック比島 院長 中田 文子

慢性腎不全患者様、特に透析導入となった患者様では味覚障害の合併が多く見られます。その原因として尿毒症性神経症の合併、亜鉛の欠乏、味蕾細胞の障害などが報告されています。さらに種々の薬剤により味覚障害をきたすことが報告されています。

腎不全患者様では高血圧を合併しますが、そのために種々の降圧薬、特に利尿剤やカルシウム拮抗薬、さらにレニンアンジオテンシン系阻害薬がしばしば投与されます。これらのいずれも味覚障害をもたらす可能性があります。

カルシウム拮抗薬ではその構造式に NO_2 や COOHCH_3 基を有しており亜鉛をキレートすることが知られています。

そのために亜鉛欠乏に伴う味覚障害を引き起こすのです。同様にアンジオテンシン変換酵素阻害剤や利尿剤でも亜鉛がキレートされ、同様な味覚障害を起こします。

さらに腎不全患者様ではしばしばビタミンD製剤が投与され、高カルシウム血症でも味覚障害が合併することが知られています。その機序として高カルシウム血症により味蕾細胞が障害され、伝達異常を生じるためといわれています。

その他にも腹膜透析患者様では腹膜透析中に直接亜鉛を喪失するために、血液透析よりも亜鉛欠乏が生じやすい報告もあります。

また透析による除水も口腔内への唾液の分泌を低下させ、味覚障害を引き起こす原因となります。近年腎不全原因疾患の第一位は糖尿病性腎症となりましたが、糖尿病に伴う神経障害が味覚異常の原因となります。

では味覚障害は患者様にとって何か都合が悪いのでしょうか。まず味覚障害は食欲を減退させ、栄養摂取不良の原因となり、腎機能障害進展の危険因子となります。さらに味覚障害のため塩分摂取が過剰となり高血圧の原因となります。

では味覚異常はどのように治療を行うのでしょうか。

まず原因となる可能性のある薬剤を中止し、電解質異常が存在するなら、その補正を行います。特に亜鉛製剤やビタミン剤の投与により味覚障害が改善し、自己管理が良好となる場合もあります。

透析患者様で味覚がおかしく、食欲がなくなり食事量が減ってきたと訴えがある人には、以上のようなことに気をつけながら日々診療に励みたいと思っています。

花便り あさがお

- ・昼顔（ひるがお）科。
- ・開花時期は、7／1頃～10／10頃。
- ・中国原産で平安時代に日本に渡来。朝のうちだけ開花するが、日陰にある場合は夕方頃まで咲き続けることもあり、さまざまな色で楽しませてくれます。

8月4日の誕生花、花言葉は「愛情、平静」



医師挨拶文

伊東 秀樹（内科）

透析・内科を担当させていただきます。

へき地の診療所や病院で老若男女と問わず、様々な病気を診察してきました。その間に透析にかかわっていたこともあり、このたび当院で重要な透析医療をすることになりました。内科的なことだけではなく透析シャント血管の外科的なことや、血液透析だけでなく腹膜透析にも関与していきたいと考えています。コミュニケーションを大事にしてより良質な医療を提供できるよう努力していきます。



日本糖尿病療養指導士として認定されました。

管理栄養士 池田 砂都喜

この度、第10回日本糖尿病療養指導士認定試験に合格することができました。

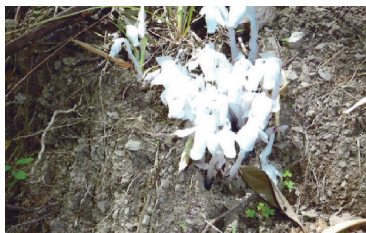
試験に当たり、糖尿病療養指導の症例をまとめる際には、大崎史淳先生、大崎多加先生のご指導や先輩の糖尿病療養指導士の方のアドバイスをいただきながら、無事に仕上げることができ感謝しております。今後は糖尿病の栄養指導に限らず、他の疾患の栄養指導の際にも今回学んだ療養指導のためノウハウを活かして栄養指導に取り組んで行きたいと思います。

山 便 り

平成22年6月14日（月曜日）の高知新聞にも掲載されました『ギンリョウソウ（イチヤクソウ科ギンリョウソウ属）』が当院の山でも生育しています。

山地のやや湿り気のある腐植土の上に生える腐生植物。高さ8－20cmになる。根以外はすべて白色、和名は銀竜草で、りん片葉に包まれた全体の姿を竜に見立てたもの。

このように広範囲に群生するのは珍しい。このほかにも当院の山には、キンラン、タツナミ草、タキユリなど珍しい植物が生育しています。



透析技術認定士認定試験に合格について

斧 武志

以前から認定士の試験を受けたいと思っており、今回そのチャンスをいただくのですが、正直、何をしてもいいのかわからず、試験が近づいてきて気持ちは焦っても、勉強は手に付かない状態でした。いざ、勉強をしようとしても教科書が睡眠薬となり寝てしまう始末…。今まで試験を受けた人は全員合格しているし、自分から志願して落ちてしまったらと、不安でいっぱいでした。ある日、松田主任から『種田さん、明神くんが落ちても、斧くんが落ちたらいかんで』と、さらにプレッシャーをかけられ、このままではヤバイと思い、休みを利用し家族から離れ、一人合宿を行いました。合宿の成果か、それ以降はスムーズに勉強ができ、試験に備えることができたと思います。松田主任の一言に感謝です。一応、妻の協力にも…。

試験が終わって帰りの飛行機では一緒に行った二人と答え合わせをし、一様に凡ミスに気付き落胆しましたが、できるだけことはやったとの満足感からか間違いを大爆笑する場面もありました。試験を通して、忘れかけていた基本的なことや、勉強不足でわかっていなかった部分などを復習できて良かったと思います。結果は3人とも合格で良かったとおもいますが、これに満足せず、日々の勉強を怠らないようにしたいと思います。

最後に、これから試験を受ける人には100%の合格率（笑）を目指して頑張ってもらいたいです。



種田 朋美

今回、透析技術認定士を取得するための講習会・試験を受けさせて頂く機会を作ってもらい、斧さん、明神さんと合格することができました。試験を受ける直前まで3人で教科書を見て問題を出し合ったりしていました。学生に戻った気分でした。

今回このような機会を頂く事ができ、勉強をしたのですが改めて知る事もあり勉強は大事だと思いました。試験結果の通知が来た時は、3人で笑顔になることができ、ほっとしました。



明神 健太郎

今回、私は透析技術認定士の試験を受けらして頂き、何とか無事に試験に合格し資格を取得することが出来ました。

今回の試験には先輩である斧さん、種田さんと一緒に東京で受講、試験を受け、受講では学生に戻ったくらいに机で勉強という苦痛をみなで乗り越え、試験では現在島津病院のスタッフでは合格率100%というプレッシャーに打ち勝ちなんとか合格出来た事はとてもうれしいことです。

東京での受講の間は、晩御飯は居酒屋で食べていたのですが、全て試験合格の前祝いということで楽しんで過ごす事ができました。結果が返ってきたので今度は合格祝いということで高知の夜をみんなで楽しみたいと思っています。

透析技術認定士の試験のため、再度基本から勉強したのですが自分が携わっていない事は忘れてしまっていた事もあるので常に勉強する事の重要性を感じました。これからも少しでも知識を深められるようがんばっていききたいと思います。



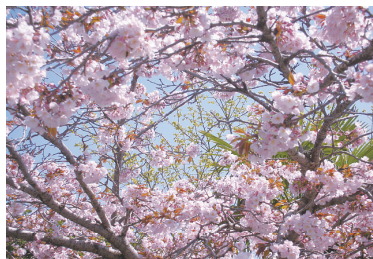
グループホーム やすらぎ

《お花見》

4月2日、5日、7日

『比島交通公園』に出掛け、満開の桜の下
3グループに分かれ「お花見」しました。

桜と共に記念写真も取りました。



《こどもの日》

5月5日（水曜日）

端午の節句に、職員が作った兜をかぶり、
音楽の流れる中、入居者さんと一緒に歌を唄
いながら楽しい時間を過ごしました。

記念に写真も撮りました。

《ぴんの会公演会》

4月4日、6月6日（日曜日）

『日本赤十字奉仕団ぴんの会』の方々によ
る、踊りや歌、お話等を、ご近所の方も交え
て楽しい時間を一緒に過ごさせて頂いており
ます。入居者さんの歌声も楽しそうに弾んで
います。



《紙芝居》

5月10日、6月7日（月曜日）

毎月、「土佐の国笑いと癒し」の方々が
紙芝居やスライド、歌に踊り等、毎回違う内
容で楽しい時間を作って下さいます。

最後はみんなで、『笑顔の体操です』

《紫陽花》

6月12日、19日（土曜日）

野市までドライブし、綺麗な『紫陽花』を
見て来ました。

アイスクリンを皆で頂き、記念に写真を紫
陽花と一緒に撮りました



栄養だより

～ 冷え症（適度な運動と鉄分やたんぱく質を）～

手足の先や腰が冷えるというには、やはり圧倒的に女性に多い症状です。最近では、夏になるとどこへ行っても冷房をしていますから、冬だけでなく、夏でも冷え症を訴える人が意外に多いようです。

医学的には冷え症の明快な原因がわかっていないまでも、一応、低血圧からくる場合やホルモンの調節や自律神経の乱れによって血液の流れが調整できずに、血液が内臓のほうに集まって手足の先や皮膚の表面の血液が薄くなるのではないかと考えられています。また、消化器系、循環器系や、婦人科などの病気によって冷えることもありますから、そのような場合は医師に診てもらいましょう。これといった原因がない時は、まず、血行をよくすること。適度な運動やマッサージなどをし、睡眠不足やストレスが血行を悪くすることもあるので注意しましょう。

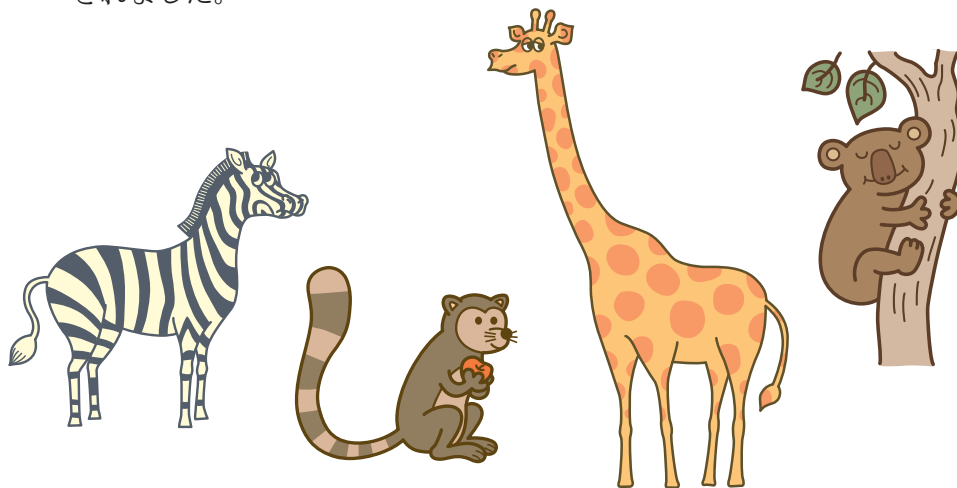
特効薬や特別な治療法がないだけに食事の内容も重要です。偏食をして鉄分やたんぱく質不足にならないように。特に鉄分不足は血液の流れに影響します。紅花油、小麦胚芽油、ヒマワリ油などに含まれるビタミンEやサフランも血行をよくする作用があるようです。

【お薦め献立】

- * こんぶと大豆の煮物
- * ほうれん草の卵とじ
- * ひじきごはん
- * ブロッコリーとかぼちゃのフリッター

島津病院が動物サポーターに認定されました

財団法人高知県のいち動物公園動物サポーター会員として、動物愛護に対する協力に感謝の意を表し動物サポーターに認定されました。



外来診察表

午前 (9:00~12:00)

	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅・大崎(多)	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)	伊東・岩崎(高知大学)	三宅・大崎(多)	三宅・伊東
外 科	島津	公家	武田	公家	島津	公家
整 形 外 科	兼松	島津 (11:00まで)	兼松	兼松	島津・兼松	兼松
脳 外 科	森			森		
泌 尿 器 科						医大
循 環 器 科		小田(予約制)	小田			
消化器科 (内視鏡)	公家	公家	公家	公家	公家	公家

午後 (14:00~18:00)

	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅・伊東	大崎(史)	三宅・伊東	伊東	三宅	
外 科	武田	公家	北川(高知大学)	武田	宗景(高知大学)	
整 形 外 科	兼松	兼松	兼松		兼松	
脳 外 科						
泌 尿 器 科						
循 環 器 科		小田(心エコー外来) 第1・第3のみ	小田(予約制)			
放 射 線 科					久保田(高知大学) (所見のみ)	
消化器科 (内視鏡)						

- 三宅院長（内科）は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前に確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

- 一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 二、良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
- 四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
- 五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
- 六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
- 七、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

医療理念

「病む人への思いやりをもつて、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

- 一、生きることへの共感、病む人への思いやりをもって医療に従事する。
- 一、当病院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。
- 一、病病、病診連携を大切にし、地域住民の立場に立った医療に貢献する。



診療時間

月～金 9:00～18:00
土 9:00～12:00
日・祝祭日 休診

診療科目

・外科	・内科	・人工透析内科
・リウマチ科	・泌尿器科	・整形外科
・糖尿病内科	・腎臓内科	・循環器内科
・消化器外科・内科	・肛門外科	・リハビリテーション科
・脳神経外科	・皮膚科	

関連医療・介護機関

医療法人 仁栄会 島津クリニック	〒785-0013 須崎市西古市町3番15号	TEL.0889-43-0003
医療法人 仁栄会 島津クリニック比島	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6230
医療法人 島津会 幡多病院	〒787-0013 四万十市右山天神町10番12号	TEL.0880-34-6211
医療法人 成仁会 快聖クリニック	〒780-8050 高知市鴨部1085番地1	TEL.088-850-0038
複合介護施設 つくしの里	〒780-8050 高知市鴨部1079番地1	TEL.088-850-0083
グループホーム やすらぎ	〒780-0065 高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3500
グループホーム かがやき	〒787-0014 四万十市駅前町59番地	TEL.0880-31-0607
小規模多機能型居宅介護 ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6232
高齢者専用賃貸住宅 ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6233

医療法人 仁栄会

島津病院

院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号

TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363

